



〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263)53-8802

FAX (0263)51-1290

E-mail: sogokyoiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp

目次

教科調査官、教育課程調査官、学力調査官を招いての研修講座一覧	p.1
今年度の研修講座の様子（教科教育部、生徒指導・特別支援教育部）	p.2
<教育情報：教科教育>英語力を測定してみよう	p.3

追加募集締切まであと1ヶ月！！今からでも申し込める！

国立教育政策研究所教育課程調査官(1,2)/学力調査官(4-9)、文部科学省初等中等教育局教科調査官(3)を講師に招いての研修講座一覧

	講座番号	講座名	実施日	備考
1	3-1-02-24	これからの小学校・中学校社会科	11月14日(木)	
2	3-1-03-25	調査官と学ぶ 算数の授業づくりⅡ	9月19日(木)	
3	3-1-08-25	調査官と学ぶ中学校・高校美術	9月26日(木)	
4	3-1-01-22	調査官と学ぶ小学校国語科の授業改善	9月13日(金)	オンライン
5	3-1-01-23			
6	3-1-01-26	調査官と学ぶ中学校国語科の授業改善	11月14日(木)	オンライン
7	3-1-01-27			
8	3-1-03-30	調査官と学ぶ中高数学の授業づくりⅠ	10月29日(火)	オンライン
9	3-1-03-31			

○05, 7, 9はオンラインでの午前半日開催のため、在勤校から研修講座を受講することができます。（指定研修の対象講座ではありません。）

○内容・日程については、講座案内の当該講座のページ及び裏表紙をご覧ください。接続方法等の詳細は、別途、メール・ウェブサイトにて連絡します。

○今年度の追加募集講座の申込期間は9月30日（月）までです。各講座の実施日の10日前までに申し込んでください。

※ここに記載されている講座以外にも、申し込みが可能な講座があります。当センターウェブサイト「研修／生徒実習」内の「希望研修 - 2024追加募集講座一覧表(pdf)」をご覧ください。こちらも申込期間は9月30日（月）までです。各講座の実施日の10日前までに申し込んでください。

マット、跳び箱、鉄棒などの器械運動の授業づくりの研修を行いました。参加者は「これならできそうだ」という易しい動きから少しずつ感覚を身に付けていくことや、子供たちの感覚づくりに役立つ場づくりの重要性など、器械運動の学習で大切にしたいポイントを講義や実技を通じて学びました。



- 《参加者の声》
- ・器械運動での場づくりの大切さを実感しました。いろいろなモノを工夫して使うことで、スモールステップの段階を設定してあげられると分かりました。



仲間をつなぐ授業づくり（中南信）～体育の楽しさを学ぼう～ 7月11日(木)実施

仲間と交流し、つながりを深めていく体育の楽しさを、体づくり運動を通じて学びました。午前中は、体づくりの様々な運動（遊び）を体験し、参加した先生同士のつながりを深めました。午後はグループに分かれ、担当している子供たちの姿を思い浮かべながら、実際の授業で行う運動（遊び）を考え、互いに体験し合いました。



- 《参加者の声》
- ・教材研究の中で、「実際にやる」というのが大切だと実感しました。やってみたらこそ、「こんなこともできるなあ」と考えが広がり、工夫することができました。



特別支援教育の授業づくりⅠ ～一緒に楽しもう!障がいのある子の音楽～ 6月21日(金)実施

本講座は、長野医療衛生専門学校音楽療法士学科音楽療法士の高橋和奈枝先生に「障がいのある子の音楽」と題して、様々な事例の紹介や演習を交えながらご講義いただきました。実際に楽器に触れたり音を奏でたりしながら具体的な支援方法を学ぶ中で、受講者の皆さんからはたくさんの笑顔がこぼれていました。トーンチャイムの響きを味わう、鈴を転がして鉄琴を鳴らすなど、知識・技能の有無や身体機能にとらわれない音楽活動を体験し、「音楽の色々な参加方法を知った。誰でも一緒に楽しめる音楽、早速実践していきたい」といった感想が多く寄せられました。



◆◆受講者ふりかえりから◆◆

- ・発達が自然に促されるよう楽器を効果的に使うことの大切さを学び、授業づくりのヒントをたくさんいただいた。
- ・発達の最近接領域※の部分の厚くなるような自分にできる支援のヒントを掴むことができ、実際の授業のアイデアが浮かんだ。
- ・学習指導要領とのつながりを感じながら聞くことができた。音楽に苦手意識があったが楽器に触れてわくわくする気持ちも感じられた。今後の支援に活かしていきたい。

※一人ではできないが、あと少し支援があればできる領域



先生方は、授業内での生徒の発話等から一人一人の英語力を把握されていると思います。

センターHP、教育情報の「教科教育」に、外国語活動・外国語の情報として、英語力を測定してみようがあります。選択式の問題で構成されていますので、答え合わせも含め、短時間で実施することができます。生徒の英語力を把握し、指導に生かすために、ぜひご利用ください。



教科教育

「教科教育index」>

算数・数学>

理科>

音楽>

外国語活動・外国語（外部リンク）>

「総合的な学習の時間」に関する情報（実践事例）>

家庭学習情報室（家庭学習に関する情報）>

◆外国語活動・外国語

☐ [外部リンク](#)

☐ [英語力を測定してみよう](#)

ここを
クリック

ここを
クリック

英語力を測定してみよう

授業で身につけた英語の力を試してみよう。

CEFR ★ A1レベルの問題を用意してあります。

※問題はNET（長野県英語教育研究会）の協力のもと、作成されています。



※このページにある問題は、中学校で学習する範囲や領域すべてを網羅していないことをご承知おきください。
また、測定した結果は、参考としてご判断ください。

こんなときに「英語力を測定してみよう」

日々の指導を振り返って

授業で言語活動を行っているけれど、生徒たちは、どのくらいの英語力を身に付けているのだろうか？



英語の調査項目の回答

中学校3年生で、*CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒は、本校にどのくらいいるだろうか？



*CEFR A1レベル

具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

（文部科学省「各資格・検定試験とCEFRとの対照表 附属資料①」より引用）